

第3次 富士見市 環境基本計画

令和5（2023）年度～令和14（2032）年度

こども版

「環境」ってなんだろう…

わたしたちが暮らしている富士見市には、たくさんの木々が立ち並ぶ斜面林やその斜面林から湧き出る水（湧水）、そこに生きている鳥や魚、植物などの生きものがあります。

また現在、わたしたちの生活からでるごみや電気・自動車の使用からでる二酸化炭素による地球温暖化が問題になっています。

このような、生きもの、水、気候などわたしたちのまわりにあるものが「環境」と言えます。

これからもみなさんが安心して暮らしていくために「環境」はとても大切なものです。



市内の自然環境（斜面林）

富士見市環境基本計画とは

富士見市環境基本計画とは、富士見市の環境を守るための計画です。

わたしたちが暮らしている富士見市には、林や森などの緑、湧水や川、田んぼや畑などの自然があります。しかし、わたしたちの生活を豊かにするためにこれまで、林や森の木を切り倒したり、車に乗るために石油を大量に使い、二酸化炭素をたくさん出すなど、環境を悪化させることとなってしまいました。

このようなことから富士見市では、富士見市の環境を守り、わたしたちがこれからも健康で快適に暮らすことができるまちを残していくために、富士見市環境基本計画をつくりました。

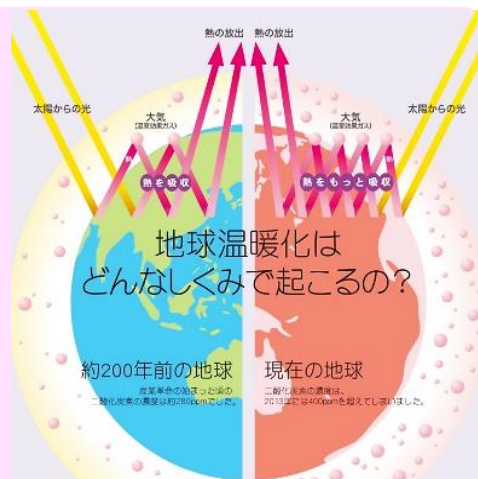
【コラム】地球が大変だ！「地球温暖化」

地球温暖化とは、人間の活動によって二酸化炭素などの温室効果ガスが増え、気温が上昇することを言います。

温室効果ガスは太陽からの光を地表に閉じ込めてしまう働きがあり、これにより地球の気温が上がってしまいます。

このまま地球温暖化が進んでいくと、集中豪雨などの異常気象による災害が起きたり、作物などにも悪い影響を与えるとされています。

地球の平均気温はどんどん上がっています。皆さんはもっと暑くなった地球に住みたいですか？



出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

富士見市の目指すまちの姿

湧水や緑に恵まれた、この暮らしやすいまちを将来に残していくために、富士見市環境基本計画では、目指すまちの姿を次のように定めました。

みず
湧水の恵みと育む緑
未来へつなぐ
環境保全のまち

目指すまちの姿を実現するための4つの目標

目指すまちの姿を実現するために、4つの目標を定めました。

1 脱炭素・循環型社会を目指すまち

- 地球温暖化の原因となる二酸化炭素を減らします
- ごみを減らして、発生したごみも資源にします

2 豊かな自然を育み共生するまち

- 緑や水辺を守ります
- 湧水を守り、活用していきます
- 生きものや生きものの住む環境を守ります

3 安全で快適に暮らせるまち

- 安全に暮らせるまちづくりを進めます
- 快適に過ごせるまちづくりを進めます

4 みんなで学び協働するまち

- 環境についてみんなで学びます
- 目標を達成できるようにみんなで協力します

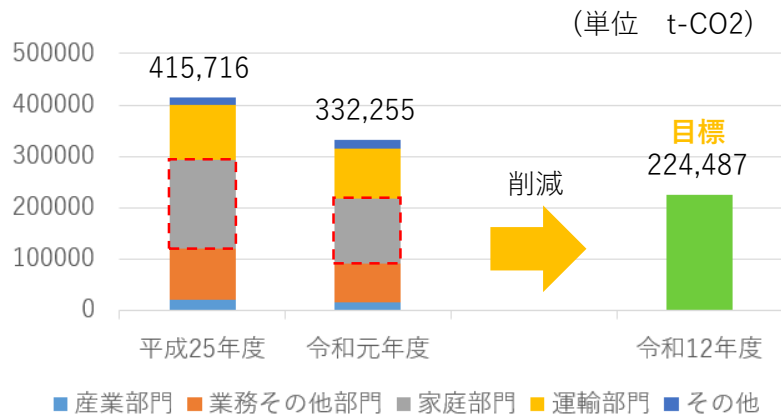
基本目標 1 脱炭素・循環型社会を目指すまち

この目標に関連するSDGs

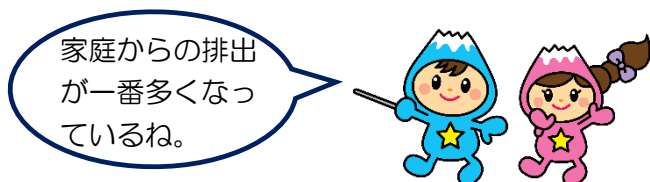


気温上昇や集中豪雨など、地球温暖化によるさまざまな問題が世界的規模で深刻になっています。

この地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量を減らす（＝脱炭素）ことや、ごみの減量化とごみを資源にする（＝循環型社会）ことが大切です。



富士見市の現在の二酸化炭素排出量と削減目標



目標を達成するために「私たち」ができること

～市が取り組んでいくこと～

- 太陽光発電などの再生可能エネルギー設備の普及に取り組みます。
- 電気自動車などの次世代自動車の普及に取り組みます。
- 森林や緑地を適切に管理します。
- フードドライブなどにより、食品ロス（まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物）を削減します。



やってみよう！

- 省エネ行動を心掛けよう
 - ・ テレビは見ないときは電源を切る
 - ・ 電気ポットを長時間使わない場合は電源を切る など
- 近くの移動は車ではなく、歩きや自転車を使おう
- ごみをしっかりと分別して、リサイクルしよう
- エコバッグやマイボトルを使い、プラスチックごみを減らそう
- 使わないもの・着られない服などはフリーマーケットなどでリユースしよう



使い捨てプラスチック製品をもらわないようにして、ごみを減らそう

基本目標 2 豊かな自然を育み共生するまち

この目標に関連するSDGs



富士見市には約28.9haの緑地のほか、新河岸川、荒川、柳瀬川などの河川や、29箇所の湧水もあり、緑と水が豊かなまちです。



諏訪の森



市内の湧水

しかし、湧水の湧出量は^{ゆうしゅつ}全体的にみると減少傾向となっています。また、富士見市の自然環境には、さまざまな生きものが生息・生育していますが、絶滅のおそれがある生きものもあり、緑やきれいな水を残すことで、さまざまな生きものを守っていくことが必要です。



きぐ
オオタカ(準絶滅危惧種)

目標を達成するために「私たち」ができること

～市が取り組んでいくこと～

- 市内のまとまった緑地を保護します。
- 市内の河川の水の汚れを確認する水質調査を継続します。
- 市内の自然に生息・生育する生態系を守ります。
- 湧水を保護し、湧水マップなどによる湧水の活用をすすめます。
- 自然や生きものとふれあう場をつくります。



やってみよう！

- 河川の汚れの原因になる洗剤の使い過ぎや、飲み物の飲み残しを排水溝に捨てないようにしよう
- 市内の湧水やその周りの自然を見てみよう
- ペットは責任をもって最後まで飼育しよう
- 外来生物・植物について調べてみよう
- 生きもの観察会などに参加してみよう



川の生きもの観察会

基本目標 3 安全で快適に暮らせるまち

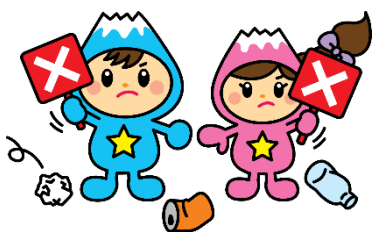
この目標に関連するSDGs



私たちが安全に暮らしていくためには公害（大気汚染、騒音、振動、悪臭など）への対策が重要です。市は毎年、大気やダイオキシン（物が燃える時にできる有害物質）類、水質、自動車騒音などの調査を行っており、ほとんどは基準値を達成していますが、市はこれからも皆さんが安心して暮らしていけるよう引き続き調査を行います。



ダイオキシン類の大気調査



ごみのポイ捨てはしない

また、気持ちよく快適に暮らすためのきれいなまちづくりとして、まちなかにごみが落ちていないことや事故を減らすための交通安全対策など、身近な生活環境をよくすることも重要です。

目標を達成するために「私たち」ができること

～市が取り組んでいくこと～

- 公害に関する定期的な調査を継続します。
- 給食の食材の放射性物質検査を継続します。
- 市民の人と協力して、富士見市をきれいにするための活動を進めます。
- 歩道の整備など交通安全対策を進めます。



やってみよう！

- 空気を汚す原因となる自動車の排気ガスを減らすため、近くの移動は歩きや自転車を使おう
- 自転車の安全運転を心がけよう
- 自転車は決められた場所に止めよう
- 犬の散歩の時にふんは必ず回収しよう
- ごみのポイ捨てはしない
- 地域で行われるごみ拾い活動に参加してみよう



近くの移動は自転車です



ごみ拾いに参加してみよう

基本目標 4 みんなで学び協働するまち

この目標に関連するSDGs



これまで見てきた3つの目標のとおり、環境は私たちの生活ととてもつながりが強いものです。この環境をよりよいものにするためには、みんなで力を合わせる事がとても重要です。



ごみ拾いによる環境美化活動

そのために市では、市民（個人や団体）・事業者・市が一緒になり、富士見市の環境がよくなるような取組を進めています。

一人ひとりのちょっとした「環境をよくしていこう」という気持ちと行動は、必ず富士見市の環境をよくしていきます。

ごみ拾いの
参加人数3,271人
(R3)を8,500人
(R7)に増やすのが
目標だよ



目標を達成するために「私たち」ができること

～市が取り組んでいくこと～

- 環境をよくするための活動をしている団体を支援します。
- 環境リーダーとして環境活動に取り組む人を育成します。
- 講座やイベントの開催など環境に関する学習の場を作ります。
- ホームページなどを使って、市の環境に関する情報を発信します。



やってみよう！

- 富士見市の環境について、ホームページなどを使って調べてみよう
- 地域でどんな環境活動が行われているか調べて参加してみよう
- 環境に関するイベントなどに行ってみよう
- どんな環境問題があるか調べてみよう
- これまでの「やってみよう」をどれか一つ以上やってみよう！



令和4年度 環境問題
啓発ポスター展最優秀作品

「前からとって食品ロスをふせよう！」

これを知っていればあなたも環境リーダー！

エコライフ

わたしたちの便利で快適な生活が自然や環境に影響を及ぼしていることを知り、省エネルギー、ごみの減量、リサイクル、節水など、環境にやさしい生活をする。

温室効果ガス

地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす大気圏にある気体のこと。二酸化炭素、一酸化二窒素、メタンなどがあるが、二酸化炭素の排出量が最も多くなっている。

化石エネルギー

太古の地球に生存した動植物が死んだ後に堆積し、熱などにより炭化水素を主成分とする化石燃料を燃やすことなどで得られるエネルギー。

再生可能エネルギー

太陽光や太陽熱、風力、水力、地熱など、一度利用しても比較的短期間に再生が可能なエネルギー。特徴としては、「枯渇しない」、「どこにでも存在する」、「二酸化炭素を排出しない（増加させない）」の3点がある。

特定外来生物

「外来生物法」に基づき、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、または及ぼすおそれのあるものの中から指定された外来生物。埼玉県ではアライグマ、カミツキガメなどが指定されている。

富士見市ゼロカーボンシティ宣言

地球温暖化防止のため、ゼロカーボン（二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすること）を目標にした宣言。令和4（2022）年4月の市制施行50周年記念式典で宣言した。

フードドライブ

家庭で余っている食べ物などを持ち寄り、地域の福祉団体や施設などに寄付する活動。利用されていない食品を利用することで、食品ロスを削減する。

レッドリスト

絶滅のおそれのある野生生物のリスト。日本では、環境省のほか、地方公共団体などが作成している。環境省では、日本に生息・生育する野生生物について、それぞれの種の絶滅の危険度を評価し、レッドリストとしてまとめている。

この計画を作った環境課から読んでくれたみなさんへ

最後までこの計画を読んでくれてありがとうございます。

「環境」ってよく聞くけど、わかるようでちゃんとはわからない…そんなものだったかもしれません。でも、環境はみなさんの近くにあって、みなさんの生活にとっても関わるものということをこの計画で少しでも知ってもらえたらうれしいです。

みなさんの近くにあるということは、みなさんのちょっとした行動で環境はよくもなるし、悪くもなるということです。使っていない照明は消す、食べ物を残さない、ごみをポイ捨てしない…まずはできることから始めてみると、富士見市の環境はみなさんの行動のおかげでもっとよくなっていきます。まずはみなさんの学校で、家で始めてみてください。頼みましたよ、環境リーダー！

第3次富士見市環境基本計画

【こども版】

令和5年3月

発行：富士見市

編集：富士見市経済環境部環境課

電話：049-251-2711（代）